



飛驒匠のDNAを受け継ぐものづくりのまち メイド・バイ飛驒高山認証

市では、飛驒高山ブランドコンセプトに合う独自性と信頼性の高い地場産品を「メイド・バイ飛驒高山認証産品」として認証しています。ものづくりの匠たちの熱い想いに触れてください。

No.14 渋草焼 芳国舎渋草製陶所

品質にこだわり続け、何よりもお客様に使ってもらうことを大切にしてきた芳国舎渋草製陶所。製陶所を営む松山正和さん、功次郎さんにお話を伺いました。

一渋草焼とは？

(正) 始まりは江戸時代末期。当時の郡代の命によって、半官半民で立ち上がりました。文化財でもある工房の周辺一帯が「渋草」という地名であったため、渋草焼と

呼ばれるようになりました。

一特徴は？

(正) 原材料であった渋草陶石は、鉄分のほか粘土質分を多く含み、強度があり青白い膚になるのが特徴です。

現在は渋草陶石を手に入れることができなくなり、特徴がよく似ている天草陶石を使っています。また、渋草調と言われる呉須（染付に使う青い顔料）を基調とした絵付けが魅力です。



使い手への愛 こだわりの藍



▲ (左)正和さん、(右)功次郎さん

一ものづくりへのこだわりは？

(正) 美しさ、実用性ともに大切ですから、上質な材料と手描きでの絵付けにこだわっています。相当な手間がかかりますが、良いものを使ってもらいたい一心です。

一どんな商品がありますか？

(功) 茶器・皿など常時100種類ほどで、毎年新作も発表します。実はオーダーメイドもできるんですよ。

(正) 渋草であれば、過去のものも作り直せます。金継ぎでも修復できますので、お気に入りのもの

はたくさん使ってあげてくださいね。

一伝統を守る職人として一言お願いします。

(功) この180年は店だけのものではありません。使い手の要望や視点が良い作品づくりに繋がり、店の歴史を作ってきました。陶磁器は、お客さんに使ってもらって初めて作品として大成します。これからもそんな作品を作っていきたいです。

税の申告相談に来場される方へ

◆皆さんへのお願い

- 手洗い、うがい、マスクの着用、手指消毒、検温にご協力ください。
- 混雑状況によっては、入場（整理）券を配布し、相談待ちの人数を制限させていただきます。

相談会場では、新型コロナウイルス感染症対策のため、職員のマスク着用やアクリル板の設置をしています。

また、会場内を定期的にアルコール消毒しているほか、スマホなどで本庁会場の混雑状況をお知らせします。

混雑状況は、こちらから→

問合せ 税務課 ☎ 35-3626



義援金の募金箱を設置しています

市では、被災された方を支援するために、本庁・各支所に義援金箱を設置しています。

集まった義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災された方々に届けられます。

義援金名称	募金箱設置期間
令和2年7月豪雨災害義援金(九州地方へ)	3月31日(水)まで
東日本大震災	
令和元年台風第19号災害義援金	

問合せ 日本赤十字社高山市地区事務局 (福祉課内) ☎35-3356

ふるさと納税で 飛驒高山を応援してください

寄附受付状況

寄附件数 694件
(令和3年1月分)

寄附金総額 28,946,450円

みなさんの「想い・願い」をしっかりと受け止めこころのふるさと飛驒高山のまちづくりに活かします。

2月1日現在の人口

総人口	86,554人 (-111)
男	41,394人 (-55)
女	45,160人 (-56)
世帯数	35,824世帯 (-22)

()内は前月比

毎月19日は食育の日です。
ゆっくりよく噛んで食べましょう。